苺電波部からのお楽しみ対談同人誌

苺電波読本 3

TOHNO FAMILY

月姫 特集

ADZUMI
わたなべごう
HOS
高橋むぎ

MoonPhase
CM61
December 2001

ICHIGO DENPA DOKUHON

――『月下夜話』――

（Ｈ）Ｈｏｓ，ともひろ
（ご）わたなべごう
（づ）あづみ

――今回は昨年（２０００年）の冬コミに完成版が発表され大ヒットした同人ゲーム『月姫』を取り上げます。続く夏コミではお祭りディスク『歌月十夜』もリリースされました。オンリーイベントも盛況だったそうです。

Ｈ　まずは全体を眺めてみますか。ゲームシステムとして語るところはないよね。

ご　「NScripter って凄いよね（苦笑）」で終わり？

づ　それ終わってない（苦笑）。

Ｈ　どう凄いのかをあげつらっていると、マジカルアンバーに殺されるよ（笑）。

ご　スクリプトを書き易いのは書き易いんだと思いますよ。ただ、今更行指向なシステムを出されても……。勝手に（他のＯＳ等に）移植する人達はみんな泣いてます。

Ｈ　そういう特殊な例は置いといて。そもそも NScripter は汎用のゲームエンジンであって、『月姫』の専売ではないし。開発環境として優れているとは思えないけど、選択肢も少ないからなぁ。

ご　でも、使いこなしてるなーとは思ったよ。

Ｈ　そう？下手じゃん。

ご　できる範囲内のことはしてるなぁと。でも、跳ばしてないと苦痛だったので、そのあたりまったく見てないのよ。

Ｈ　うわーっ。このノリは面白いけど品性がないから止めよう。

ご　『月姫』って、文句のつけどころはかなーりーりあるのよ。ただ、それを超えて、面白いと思ったからこそなのです。

Ｈ　じゃ、最初ぶっちゃけて。そのあとキャラ萌えでフォローということで。

ご　まあ、基本的には「無駄に長い」で言い切れる気はする。部分ごとに見るとまあそれぞれ悪くないと思うんだけど、全体を通しちゃうと詰め込みすぎ印象がでかくなるですよ。正直、アルクェイドシナリオはネロのところで終わりだと思いました。

Ｈ　無駄に長いのは吸血鬼ルートのほうじゃない？

ご　そうですね。あれだけ後があったのは、予想を裏切られたというのもあって、その点は評価もしてるんだけどね。

Ｈ　でも、おかしーだろあのボリュームは！それで誤字の嵐に作り込みの甘さを露呈しているのは、オレポイント的にはぐっとダウンだね。ちゃんと見積もろうよ。

づ　んじゃ、初版の方やってたらもっとダウンだったわけね。

H　脚本構成的にはどだろ？
ご　継ぎ足し構造なのがばればれだからねぇ。
H　長すぎる原因もその辺に？
ご　プロットを見直してないんだと思うよ。シナリオの作った順に、前のシナリオの設定をちょっとずつ持ってきてメイン部分を別に足すようになってる。それは評価してるんだけど、削るってことをしなかったんだと思う。アルクェイド～シエルでは、基本設定が同じで見てる側面を変えてる。シエル～秋葉においては、自分の体が弱っている理由についての設定を引っ張ってきてる。四季のほうがロアよりも強くなっちゃったってことで差異の説明はちゃんとつけてる。秋葉～翡翠・琥珀では、遠野家の裏側にメスを入れて、そっちを主眼にしてる。作った順序は読んでいると明らかで、結果的にお話の重なりの層は深まり、それが面白さだとは思うのよ。ただ、当初からここまでのプロットが全部あったのではなくて、本能的に「こう足せば面白い」といった感じで作られてるんだと思う。
H　うむ。
ご　青本なんかは足し損ねた部分の集大成なわけで。
　そう考えると、実は頑張って削ったのかもしれない。
づ　ああ、そうかも。
ご　その足し方のウマさ自体はシナリオさんの才能なんだと思いますよ。
H　必ずしも上手いとは思えないな。吸血鬼ルートと遠野ルートの間で微妙な齟齬を感じたせいで、オレは印象を悪くした。継ぎ足し構造はシナリオの不具合にも現れていて、本来のルートと思われる選択肢以外を選ぶと矛盾が生じたりするからね。
ご　詰めの甘さも才能かも（苦笑）。この作品がやっぱり同人だと言われる所以ではあると思う。商業作品が見直されてるとは限らないけど。
づ　商業作品はなんてか、全部詰め込もうとかいう感じがしない。多分、次があるからだろう。
ご　スケジュールが最大重視だから、お話が崩れない範囲でさっくり切るからね。
H　でも、やってて「なげーよ」と疲れたのはそういった面に限らないんじゃ？吸血鬼ルートの中盤以降の展開が悪かったと思うな。
ご　やっぱそのあたりですかね。
づ　シエル先輩は確かに長かった。
H　シエル先輩、最初相討ちエンドでしたが、あれでちょうどいい緩急の数だったと思う。あの後にもうひと山あるのは辛いって。
ご　「まだ続くカー」って思ったような。
H　吸血鬼ルートは構成的には今ふたつなんじゃないかな。牽引力だけはあるから批判し辛いんだけど。
ご　筆力自体は後ろになるほど上がってると思うよ。
づ　後ろってのは？
H　積み重ねた順（笑）。
ご　アルクェイド～シエル～秋葉～翡翠～琥珀の順ね。

H 筆力って、おもに技術面かな。パワーという面では、前半も際立ったものを感じた。文章の技巧について話すなら、やはり前後でムラがあるせいで、死などの繊細な表現が本編の範囲では伝わってこなかった。『黄昏草月』でようやく統一的なイメージができたと思う。

ごうむ。

H まあ、『歌月十夜』になると超越しすぎで面白くないという面もあるけど。死にそうな志貴くんが好き。しかも、訳も解からず。

ご 犬の餌？（笑）

H シナリオの内容というか、読ませる力についてはほぼ全プレイヤーが評価するところではあると思うけど、スクリプティング的には面白い面はまったくなかった。演出といってもいいか。工夫を凝らした見せ場がなかったよね。

づ 手が回らなかったんでないのかな。

H テキストとその見せ方の連携に小気味良さが感じられなかったので、ゲームとしての華は皆無だったんじゃないかな。

づ スタッフロールにでてくるプログラマさんって何をしたんだろう？

H ここで言うところのスクリプティング担当だと思う。エンディングロール見ながら、よくも名前を出せたもんだと思った。あと、テストプレイヤも同罪。テストしてなんであんなに誤字や選択肢間に矛盾が残りますか!!

ご （苦笑）

H 仕様レベルでもクリック待ちの入れ方などに関して気に入らない面もあるし。テキストの読ませ方は洗練されてはいなかったよ。特に、いまだに誤字を放置しているのは許さねーから。

H パターンCGは、全キャラ並べるときっと違和感ありあり。

づ 頭身揃ってないのは流石に気になったなぁ。

H 同じコでも背が伸びたり縮んだりするしね。

ご バランスも崩れるしね。クオリティが残念ながら揃ってないのよねん。

H 『黄昏草月』では追加アルクェイドがだいぶ違ったり。難しいことが解かるよね。

ご 難しかったよねー。

H まあ、文句は言うけど多少なりとも苦労を知ってるので。なんせ、我々の時は『To Heart』のコピーだったのでデザインやってない。発注のことを考えると、頭がくらくらします。

ご 評価するときは自分のことは棚に上げるのが基本です（苦笑）。

H でも、アルクェイドや先輩に魅力的なパターンがありましたな。『黄昏草月』での乱発は、少々履き違えている気もしましたが。

ご あれはイベントCG代わりですからね。

H　音楽は必要最小限。
づ　私は特に不満は感じなかったなぁ。
ご　盛り上げ用の音楽が無かったねー。おどろおどろしいシーンとかは問題なかったと思う。音楽というより効果音に近かった気はするが。
づ　まあ、燃え上がるようなところないからねぇ。
ご　どたばたな所にはどたばたな音楽をーとか思ったのだ。
H　効果音は良かったと思う。心音とかね。音楽が鳴ってなかったからという説もあるが……。一方、『歌月十夜』では大幅増強されたけど、つまらないものが多かった。
ご　（苦笑）
H　使い方もよろしくない。無駄にちゃらけてたぞ。
づ　本編で音楽関係でいろいろ言われた（かどうかは知らないが）から頑張ってみたけど空回りって感じ？
H　なんか、ひどいなオレ（汗）。
ご　みんなひどいよ（苦笑）。
――冒頭で紹介したように同人ゲームとしては異例の人気を博しています。
H　商業作品と比較されることがあるようだけど、オレは同人と商業を区別するつもりはないよ。同人らしさ、なんて言われてもピンとこないし。
ご　まあ、甘えではあるのかもねー。それでいいじゃんという考え方もありますが。当の TYPE-MOON の皆さんはどう考えてるのかねん。
H　成立までの経緯はともかく、結果としての作品に同人と商業の差は絶対的ではないから、単純なプレイヤとしては関係ないッス。
ご　プレイヤ的に今後の作品は気にならない？今後、何か作るとしてのあちらのスタンスってのは興味深いですよん。
H　出たものにしか興味ない。出すことに関しては、自分がやるということに興味が集中するし。参考にしようなんて思ってもいろいろ違いすぎるしねー。
ご　なるほど。がんばりますかのぅ。
H　まあ、私が同人を知らないのでそっち系で語るのはなんなのですが。
ご　出してるくせに（笑）。意識的な差異は現実に存在すると思います。で、それが作品にも反映されている。個人的な評価基準としてそれを補正項にするかはともかく、市場的な評価としてそれの影響は確実にある。個人的には『月姫』があのままで、商業作品として出てきたとして、あれだけ評価をうけたかどうかは疑わしいと思ってる。
H　受けないだろうし、まず出せないよ。
ご　ただ、現在の業界側があいった作品のニーズをまったく提供できてなかったという事実はあると思う。
H　『月姫』はまれにある脚本才能発露の産物で、ニーズに左右されたものではないと思う。凄いモノ

がでたから結果として売れたと思うんだが。

ご　脚本才能だけでは受け皿がないよ。エンターティメント的作品の受け皿はエロゲプレイヤの中にかなり広くあると思うのよ。ところが、Ｋｅｙの作品の大ヒットや、あとOverflowのような「裏表」的な作品の大・中ヒットで、業界がみんなそっち向いちゃったってのが今年の現状だと思うのよ。

Ｈ　Overflowはちと解からん。

ご　具体的には『PureMail』。中ヒットなんだけど「純愛＋鬼畜」が売りだった作品で、今年はやたらその路線に乗っかった作品が多いの。

づ　よく見るキーワードですな。

ご　キーワードとして解り易かったからだと思う。で、この業界、右に倣え的なところあるじゃない。その結果、純粋なエンターテイメント作品の空白がぽっかりできてて、そこにちょうどはまる形になったんだと思う。

づ　右に倣えというか、そういう流れに乗らないと生きていけないというか（苦笑）。

ご　多数の人は結局流行なものを遊びたがるのは事実（というかそれを流行っていう）なんだけど、全部それだとやぱ飽きるわけで。商業の側はそれを見切れてなかったってこと。

Ｈ　空白地帯に出せたのが良かったとして、それが出せたのは自由な選択ができる同人だったから、というだけでは論として弱くない？

ご　もちろんレベルが十分高いものだったってのはまずあって、その上で対抗作がいなかったってことが言いたかった。『月姫』と同程度のレベルの脚本で『AIR』的な作品を作って、本家に対抗できたとは思えないってこと。

Ｈ　しかし、それを同人であることに帰結するのは無邪気過ぎて。TYPE-MOONのプロデュース能力を無視していることになる。

ご　同人であることに帰結というよりは、単純に商業側が弱すぎるのかな。同人側も似たようなもんです。同人ｖｓ商業というより、TYPE-MOONｖｓ商業とか、渡邊製作所ｖｓ商業とか、そういった図式が成り立つのが現状なんではなかろうか。同人ってのは左側の属性の一部にすぎないんだとは思いますです。

Ｈ　渡邊製作所は明らかに同人としての躍進でしょう。だけど『月姫』は結局能力の傑出なんじゃない？

ご　同人の庇護と、商業の抜けがあったからこそ傑出できたったからこそってのは主張しておきたいです。

Ｈ　傑出と言っても、続かなければ波間に現れる露岩ですが。

ご　商業の抜けが引き潮（笑）。

――では、舞台を巡りながら個別の内容を語ってもらいたいと思います。ここは始まりの地。原っぱです。

Ｈ　担ぎこまれた志貴くんは、目覚めると不思議が線

が見えるようになっていましたと。
ご　瀕死の状態に陥ったことによる能力開花ってことでいいのかね。
H　この時点だと屋敷の事件は知らされてないから、村での記憶と勘違いしちゃうんだよね。
ご　あのプロローグと関連してるもんだと思ってました。
づ　嘘じゃないけど勘違いさせるというのは良くある手法ですね。推理小説読んでると良く見かける。時系列を隠すとか、視点を隠すとか。
ご　魔眼は一番突拍子もない設定なわけだけど、最初に出すことで読者にこれがお約束だってことを示してるってところですかね。
H　線についてはアルクェイドも解説してくれたけど、ちゃんと把握できてません。先生の子供向け解説は解かったけど、アルクェイドのは難しかったぞ（笑）。
ご　あまり把握する必要もないのかも。
H　この能力は、後半になるほど適当になってますな。特に遠野ルート。
ご　豪快に使えるようになりますなぁ。
H　点を突かれてからも平気で喋ってます。対ネロの頃は死の点を突くと即動かなくなるとかなんとかあれほど蘊蓄たれてたのに。でも秋葉喋ってたし、四季っちもしつこかったし。
ご　実は遠野の人には耐性が。
H　さっちんも遺言残してたよ。
ご　むぅ（汗）。
ご　先生は本編だけだと謎の人ですな。
H　『黄昏草月』で焼き肉食いに行くと謎は深まるばかりです。先生の謎ってどこかで明かされるの？
ご　青本読めば書いてあります。
H　そゆのってゲームの評価を邪魔するからあんま読まないのよね（これが不幸の元だったり）。

――学校の傍まできました。

づ　やっぱ裏門からでしょう。
H　意味ありげに裏門から入る選択肢があったら選ぶよねェ。
づ　私も最初はシエル先輩に会いました。
H　それでメガネの似合う可愛い先輩がボケ倒してたら思わず突っ込むよねェ。
ご　出会い印象としてはヒロイン中では最強な気はする。これだけ優遇されててなぜっ！
H　世間は解かってない！先輩のどこが地味なんだ!!
派手ならいいのか！メイドならいいのかーっ！
づ　私の場合は話が好きだから、という要素が結構大きいなぁ。
H　アルクェイド人気もちょっと不思議。正ヒロインが強いのって素直に受け止められない。正ヒロインのくせに出番が少ないからか？

づ　不思議だよね、正ヒロインの癖に出番が少ない。
　何を理由に正ヒロインなんだろう？
H　自称、有無を言わさず。
ご　そう設定されたから。
づ　設定ミスだよ（笑）。
ご　続編を意識してるからだろね。作ってるうちに翡翠・琥珀のほうが強くなっちゃっただけだと思うよ。
H　脚本氏は明らかに翡翠をヒロインにしたがっているからね。なんせ、Hシーンの数が違う。
ご　すくなくとも『月姫』だけでみると、正統派ヒロインにふさわしいのは翡翠だよね。で、裏ヒロインが琥珀さん。アルクェイドをなしにして、お話としてまとまるんだもん。その場合、先輩が完全にちょい役になるが（苦笑）。

H　そうなのかなぁ。翡翠・琥珀は話がいまひとつ面白くなかったからなぁ。
づ　遠野ルートは盛り上がりに欠けるよね。
ご　志貴の眼については吸血鬼ルートのほうがメインだからね。志貴の位置付けの解明としては、遠野ルートが全部背負ってるわけで。そういう意味ではバランスがすごく悪い作品なんだよなー。

――中庭にでました。

づ　中庭といえば梅サンドはここですかね（笑）。
H　あの組み合わせは味オンチ以前の問題だ。
ご　一応梅の雑炊とかどーとか元々言ってたんだよね。で、それが梅なサンドイッチに。
づ　きっと料理がうまくなる志貴くんが続出だね。
H　食べたら命に関わりそうなどこぞの長女に比べれば……。
ご　どこぞの長女は自覚ないからね。
H　翡翠も自覚ないでしょ、舌に関しては。
ご　あー、それはそうかも。
H　もう、翡翠トゥルーの後が気になって気になって。琥珀さんが許された理由の１／３は食事にあるに違いない。
H　シエル先輩はカレー漬けだしなぁ。そもそも、どこでそんなことになったんだあの人は！
ご　ここに同人誌が一冊。半分オフィシャル。ゲスト

原稿でシエルカレー話が書かれてます。初仕事の任務がとある死徒の退治で、舞台がインド……。
そこではまった模様。
づ　はまるにもほどがあるぞ（苦笑）。

H　秋葉も料理できないんだよなぁ。
ご　秋葉は掃除もできないような気が。
H　寮は羽ピンが凄いことにしてたけど、秋葉の周りは綺麗でしょ。几帳面ではあるし。やれば料理も人並みにはできるだろ。翡翠のようなビハインドはないし。
づ　単に慣れてないだけでしょうね。
H　習い事の振りをしてどこかに消えるんだけど、指にバンソウコウ貼りまくりでバレバレとか。秋葉、可愛いよね。
ご　可愛いのは認める（笑）。
づ　可愛いねぇ。琥珀シナリオ以降ちょっと見る目が変わったけど（笑）。
H　なんだ、その含みは。オレの妹にけちをつけるのか！
ご　怖い（笑）。
H　妹が怖いぶんには致命的じゃない……と思う。スリリングで、毎日が生きてる感じするだろ。
ご　調理パンと牛乳の食い方が解らんかったことには言及しておくべきかと。
H　アレは脚本がおかしい。百歩譲って調理パンを知らなかったとして、眼前で兄貴が食べてたんだから解かるだろうに。
ご　まあねぇ。
H　カップラーメンとか渡してみたいな。
ご　それは楽しそう（笑）。

H　誰もアルクの料理に振らないのは何故だろう？
ご　料理一応自分でしてるのかな？というか、食わなくてもいいんだよね。
づ　消化してるんだろうか。
H　食べてないときはトイレ不要なんだろうか（苦笑）。
ご　にんにく食べさせられて泣いてたけど。なんか体に変調でるのかね。食い終わってから反応するのは遅いとは思うが。
H　にんにくでどうこうなるほど、常識的な奴ではないだろ。

――校舎内へ進みましょう。

ご　四季の家。
H　なんでまた、こんなところを隠れ家に。遠野家の座敷牢からいつ移されたかも謎。彼についてはなにか？
づ　かわいそうだね、と。翡翠シナリオでは完全に雑魚だし、琥珀だと出てくる前にやられちゃってるし（笑）。
ごんー。ふたりで語らうときの彼は好きだよ。
づ　あれって実際に会ったのかなぁ。

H　この時点だとロアも考えられたし。
ご　けっこう謎の部分ですな。
H　片方が街を去ってるけど、四季が秋葉に処分されるのがその後なのが混乱の元。七夜が消えたわけでもないだろうし。四季だとするとあっさり街を去るのが不自然。秋葉萌えはどうしたっ!!
ご　そこ、自分を投影しない（苦笑）。
H　その四季とロアについてはあんなに複雑にする必要があったのかがちと疑問です。
づ　基本的に吸血鬼ルートはロアで、遠野ルートは四季ですな。
H　その切り分けが解かり辛かったかな。
ご　基本的に同じ設定なんでない？ロアが乗り移ってるとこまでは同じで、遠野ルートでは四季のほうが優勢。吸血鬼ルートではアルクェイドが弱ってるぶん、ロアが力を出しやすくなってるのかもしれない。
H　先輩が明瞭に説明してくれれば良かったんだけどね。自分の考えがあってるんだか、間違っているんだかがはっきりしなくて気持ち悪い。
づ　それぞれのルートで設定が同じなのかどうかちうことでそ？最初は違う話なんだなと思ってた。
ご　私はロア化しなかったのねって、素直に思った。
づ　遠野の家に行くもっと前から何かが分岐してたと思ったよ。ただ、それ以外の点は違ってないんだなと終わってから思うようになった。これは青本とかの効果が大きいかなぁ。
ご　そのあたりは私の印象と違うねん。繋がりを感じなかった人が多いとすると、やぱ筆力不足？
H　繋がりって？
ご　お話として、アルクェイド～シエル～秋葉～ひすこはの流れの中で、主人公が進んでいった方向が少しずつ違うことで見ている事象がずれていく中で、ロア＝四季がベースの繋がりになって構築されてるってのが私の認識。だから、それが切り離された印象を持たれちゃうと、作品の評価がだいぶ下がっちゃうと思うのです。
H　えっ!?ロア＝四季なの？
ご　四季に取り憑いて復活しようとしてるのがロアでそ。
H　うん。アレェ？　志貴ではなくて四季……それはぜんぜん意識してなかった。
ご　ロアが取り憑く対象ってのは、自分の力が引き出せる素材であって「遠野家の当主」が狙いっしょ。シエル先輩も言ってたと思うよ。で、自分は先輩から誤認されたわけでしょう？
H　その通りなんだけど……今の今までオレも誤認したままだった（汗）。
ご　志貴君、基本的に完全な被害者よ？
H　……アルクェイドシナリオで、ロアになりかけてなかったっけ？
ご　四季と繋がっているから流れ込んできてたんでしょう。
H　……だよね。無理です。そんな重ねられかたした

ら私には理解できません。
ごむぅ。そんなに難しいかな（汗）。
H　結果としてさっぱり解からなかったもの。いや、もちろん知っていたけど、それが吸血鬼ルートと遠野ルートを繋げているとは確信できなかった。……評価はさらに下げておこう（笑）。
ごがーん。
H　アルクェイドシナリオでは、ロアと四季はどうだったっけ？
ご　完全に四季がロアに圧倒された状態で、自分までもロアの影響を受けてたって状態。アルクェイドが志貴に負傷させられて吸血鬼狩りをあんましてないから、それでロアが出てきてるんだと思うよ。
H　アルクェイドシナリオでは四季なんて欠片も出てこないじゃないかー。
ご　先輩シナリオで遠野の当主をマークしてるって話になって、それと過去の思い出とかと連想して、こいつがそうなのねって解るようになってますね。それを引き継いだ上で秋葉シナリオがよく解る構造。遠野ルートでは、たぶんネロもあっさり倒して積極的に狩り出してたんでない？
H　それで弱体化したロアに代わって四季が表舞台に……。無駄に長い吸血鬼ルートの中で必要な情報も忘れていました（汗）。
ご　（汗）
H　非常に解かり辛いゲームでしたなぁ。今、オレのプレイが終了したよ。
ごむぅ（苦笑）。その点を把握してなければ「ちゃんとスライドしてる」って評価はあんまでてこないのかも……。
H　敢えて明言しよう。「ちゃんとスライドできてない」。
ご　矛盾があるんでなくて、実はこうだったってのが私理解なのよー。ちゃんとそれを説得するだけの素材は並んでたと思うよ。
H　やぱ、あの継ぎ足し方に問題あるんだよ。遠野ルートで得た情報を吸血鬼ルートに当てはめられなかった。結局、遠野ルートで必要とされた新しい設定が付加されただけとも受け取れるでしょ。
ごたぶん実際そうなんでしょう（苦笑）。リファインしたら良くなると思われます。
H　あそこのスタッフにその能力は期待できないね。やだなぁ、オレだけ解かってなかったのか。
ごうーんどうなんだろ。世間的な評価って、どこを基準にしてるのかねん？
H　純粋に娯楽作であるので、からくりが解らなくても楽しめるでしょう。まさにオレのように。
ご　個別のお話そのものとは強く絡んでない、実は伏線って設定がやたら多いのと、解りにくいのは事実だと思います。私はいろいろ想定しながらプレイをして、確定したのはやっぱ青本があったからこそではあるし。

――一階です。

H　ここがシエル先輩が不法占拠した一室です。文化系サークルには是非欲しい人材ですな。
ご　お茶うけにはカレーパン……。
H　合わないと思う……。
ご　うむ。絶対合わないと思う。
H　カレーパンって、温めるとおいしくなるよね。
ご　チンすればねん。
H　電子レンジよりトースターのほうがカリっとしてベターだよ。なんて話題で昼休みを潰す。シエル先輩はそういうのがホントの望みだったんだな。
ご　でしょうねぇ。
H　んで、茶道室といえば押し入れ。恐らく、唯一シエル先輩が勝利したときではないかと。どうやって勝ったんだ?
ご　なにか騙し討ち。
づ　ねこじゃらし。
H　頭脳プレイと言ってください。『黄昏草月』のクロスカウンターといい、この部屋はこれからも戦乱の歴史を紡いでいくことでしょう（汗）。
ご　うむ。
H　足を踏み入れるのも命がけになりそうな。……秋葉も来るかな?来るよなキット。「来たくて来たのではありません」とかなんとか怒りつつ。
づ　そして新たな戦乱が……。
H　シエル先輩には安息の場としての学校なんだろうけど、志貴クンにはもはや。
づ　有彦の家ぐらいしか安息の場はないんじゃないかな。
H　なんか変なのいたけど。
ご　ななこー（笑）。

――二階は素通りして三階です。

H　素通りするなー。『黄昏草月』で先輩の演劇がカットされたことに遺憾の意を表明する!!
づ　タイトル見て力抜けた（笑）。
H　三階は自分の教室ですな。先輩が昼ご飯に来るのは定番化してた。
づ　実際にあんなことがあったらむちゃくちゃ噂になるよね。
ご　先輩は基本的には認識されん人なんじゃないかな。ドラえもんの「いしころぼうし」調整可能バージョン。
づ　うわ、懐かしー。
H　困らない範囲で盛り上げるんじゃないだろうか、あの人は（笑）。
H　コスプレ屋は反則でしょう。
づ　チャイナですか。
H　似合いすぎです。薬で女のコを眠らせて、売り飛ばしているに違いない。
ご　情報屋だよ?
H　いや、裏商売で得た情報を更に商売にしてるんだ。

後は黒丸メガネとナマズ髭があれば完璧。
ごうむ。
H　シエル先輩にも来てほしかった。ふりふりのメイド服を着て、周りが引くという（汗）。
ご　さすがシエル先輩（笑）。

ごあ、ケーキ屋。ケーキをひたすら食うレンが可愛い。
H　餌付けですか。
ご　恐らく志貴君、あれで味をしめたレンにちょくちょくたかられると見た。お小遣いの大半をそれでロスト。
H　財布へのダメージという点では晶ちゃんのほうがよほど脅威だゾ。
ごうひ。
H　『幻視同盟』で、食事の内容に若干の違和感を憶えたけど、さすがにそこで偽者だとは思わなかった（笑）。
づ　あれは見た目に違和感があった。「えー、志貴ってあんな感じだったのー？」って。
H　それは本物を見てもそう思ったぞ。

――四階です。

ごいもーとはクラスに馴染んどるんかの？最初はお嬢様モードを保ってるところ、果たしてどのくらいで化けの皮がはげるか？
H　はげないでしょ。よほど親しい間柄じゃないと油断しないだろうから。
ご　怖い側面って普通に出してたりするんではないかと。
H　同じ学年では、秋葉様を正視できる奴はいないと見た。正視できないのでばれない。
ご　（苦笑）
H　たとえ怖い側面が露呈しても、それもお嬢様だからということで通る。それくらいの才能は見せて欲しいです。
ご　当主だしね。
H　じゃなきゃ、ナチュラルに秋葉様なんて呼ばれるかーっ（笑）。

ご　晶ちゃん脅えてるわりには、秋葉を恐れてない行動とるよね、文化祭とか。
Ｈ　晶ちゃんって、妹に甘いオレから見ると、ドッグレースのウサギなんだよね。秋葉を引き立たせるためにひたすら怖がるのが役割。
ご　メッセの下敷きではななこといっしょに泣いてます。
Ｈ　いい仕事してるよねぇ。秋葉がいなくても、その影が感じられるとゆー。
ご　会話の節々に秋葉の恐怖が滲みでてますね。
Ｈ　その度に、秋葉は元気にやってるなと兄は安心します。
ご　うむ。
Ｈ　ただ、あの猫又を見ると、ちょっとした不安が……。
ご　かなり不安が（笑）。
Ｈ　アレはだれの入れ知恵なんだろう？琥珀さんの姿がちらちらしなくも。化け猫の劇をＴＶで観てたでしょ。
ご　ばっちりですよとか煽ってそうだ。

――では、校庭に下りましょう。

Ｈ　ということで、体育祭です。体育祭といえば体操着、そしてぶるま。
ご　体育祭はあんま印象にないなぁ。
Ｈ　だからぶるま。
ご　それが描きたかっただけなのかもね（笑）。
Ｈ　先輩のブルマ姿にちょっと感動しました。そんでお弁当対決ですな。
ご　でも、秋葉のは琥珀さん製だっけ。で、先輩のはカレー。
Ｈ　それ言っちゃうと琥珀さんの圧勝になっちゃうからダメです。二位は志貴か有彦じゃないの？
ご　たぶん（笑）。
Ｈ　あのシーン、通常の効果のまま竜虎を表示しているのが残念。
ご　エフェクト重くて切ってたかも（苦笑）。
Ｈ　オレだったら、ホワイトでフラッシュさせてからフェードインなのに。ギャグに寄せるなら、上からスライドインとか。もちろんガコンっと効果音入れて。
ご　なる。
Ｈ　それと、シエル先輩が赤い虎で、秋葉が青い竜ってのも。
ご　逆ですのぅ。
Ｈ　聞いてますか、こやま先輩？

――塗り担当のこやまひろかずさんは漫研時代の先輩だそうですね。では、正門から出ます。

Ｈ　これがアルクェイドが腰をかけていたガードレールです。
ご　おお、これがあの……普通のがーどれーるですね。
Ｈ　別に握り潰されたりはしてません。このシーンは

なかなか印象的でした。
ごまあ、前日に殺したしね（苦笑）。
H ここで、恋人でも待っているかのよう――という表現がはまった時点で、アルクェイドの魅力が決まったような気がします。
ごそですな。魅力の集約点かも。
H 単純に彼女のシナリオを読んでてどこが楽しかったかと言うと？
ご基本的には、やっぱりインパクトではないかと。
づケース裏の「私を殺した責任～」ですよね。
ごそのコピーの印象はやぱ強いですよん。
H まあ、責任を取ると言いつつ、後半は惚れた弱みになってますが（苦笑）。ロアとの経緯は詳しく語られませんでしたな。どうやって血を吸わせたかは気になるんだけど……。内輪の喧嘩に巻き込まれた立場としては、いまひとつ釈然としない。
づうむ。

――話の流れですのでアルクェイドの部屋へ出ます。

H 玄関ですな。ばらばらになった（した）人と、どこまで普通に接することができるのだろう？まじめに考えると結構厳しいような。
づその辺は人間には忘却という才能があって。
ご基本的にそのあたりの感覚はやぱ欠けてるのかねぇ。
H アルクの秘肉（笑）を見たら、思いだしゲロとか。
ご（笑）
H ここでの生活はいたって常識的……？
ごにんにくが嫌いなのに冷蔵庫に入ってるのは謎です。
H 買い揃えているのは志貴じゃないかなぁ、金ないけど。
ご お金はアルクェイド持ち。……ひも？
H ひも（笑）。
H ここを借りるのもなんかしてるよね？身分証明もなにもない外国人が入居するなんて。
ごまあ、アルクェイドのことだからどうにでもなるんではないですかね。きっとキャッシュカードとかも一番いいやつ持ってるんだよ。
H 資産はあるんだろうけど、現金化とかどうしたんだろうね。パスポートなんかも偽造できるとして、そういうコネがあると思うとなんか変。
H それでは……失礼してタンスの中を。私はアルクェイドならゴールドは許せます。
ごかぷり、合掌。
H あれも夢だからなぁ。ホントに持っているかどうかは謎。
ごですな。志貴の願望かも。
H 実際は脚本氏の願望のようですが。

――舞台は一転し、シエル先輩の部屋です。

H この部屋……女のコの香りより、香辛料の匂いが。
づ 色気ないなぁ（苦笑）。
H どっちかというと食い気が出てくる。
づ 眼鏡有無は最初どっち選びました？
ご 一応ありで。
H 最初もなにもありしか見てない。
づ 全員ありか（笑）。
H ありでしか見てないので、CGのフラグが立ってない。
づ そう、アルバムが埋まってなかったから後でなしも見た。
H どうやら、眼鏡なしがトゥルーらしい。
ご （笑）
H で、いきなり志貴クンの人生で最初にして一番激しいHでした。ロアの余力を使ったので今後はあそこまでは見込めません（笑）。
ご 後ろ（笑）。
H 後は初めてと言ってたっけ？嘘でも初めてとか言いそうな気もしなくない、今日この頃。
づ 言いそうだね（汗）。志貴がああなっていることを知ってたわけだけど、シエル先輩のときはどうだったんだろうと密かに気になってたりして。
H この話題は追求すると黒い過去に触れかねないので危険だ。今時、処女神話でもないだろー、とフォロー……か？
H 『黄昏草月』で、先輩をデートに連れ出すところは良かったですな。かなり可愛かったです。珍しく主導権を握れて嬉しかった。
ごうむ。あのシーンはいいですな。でもカレー屋はやっぱりまずかったと思います。
H あのCGは塗ってて謎だったって。
ご （笑）
H 先輩、勉強してると言ってたけど、ちゃんとついてきているのだろうか？
ご 試験の時はいなくなる（笑）。
H なぜか赤点だけは免れるとか（笑）。って、まだそんなに長居してないか。
づ 本編だけだと短そうだね。
H 『黄昏草月』は翌年の夏と言っているけど。
づ 学年合わないよね、あれ。
H 結局、全員落第か……。
ご それだ！
づ まあ、進級しちゃうと、シエル先輩出せないし。
H いや、先輩はなぜか同級生になっていても大丈夫。ちゃっかり隣の席をキープしてたりすると笑える。志貴は、あの後に入院半年で落第って凄く真実味が（苦笑）。
ご それはありそうだ（笑）。
H 秋葉エンドだね。
づ 秋葉も同級生？
ご 有彦も落第して以下略。
H 当然。で、筆頭で秋葉様とか言ってる。そんなク

ラスいたくねーっ！

Ｈ　インダストリアルなデザインはオレも好きです。
ご　改造魔……。いろいろ兵装は仕込んでそうではあるけど、きっとあれで殴るんだよ、ばきって。
Ｈ　結局力技かいっ！
ご　で、ななこは生傷絶えないの。
Ｈ　イベントＣＧ見ただけじゃ、なんだか解からんのは確かだが。
づ　ななこかわいい……。
Ｈ　『ボトムズ』のパイルバンカーみたいな物のような。
づ　解かりません。
Ｈ　炸薬の爆発力で杭を打ち出すんだよ。きっと銀製。
　――第三回人気投票でコメントされていましたが、ただの大砲だそうです。
Ｈ　アレ、どぶ川で浮かばないと思うんですけど。それ以前に流すなよってゆー。
づ　なんで流れてたんだろう。
Ｈ　姫とやりあったくらいしか理由が思いつかん。
ご　ですかねぇ。
Ｈ　陰干ししているうちに落としたとか？
づ　なんにしても可愛そうななこ……。
Ｈ　ななこは別にいいよ。
づ　えーっ!?
Ｈ　秋葉に晶ちゃんがいるように、先輩にはななこが。
ご　お・も・ちゃ。
Ｈ　にしても、我々が「ななこかわいい」という方向性にならないのは珍しくない？
ご　というと？
Ｈ　ちんまいし、胸ないし……。人間じゃないし。
ご　うむ（笑）。まあ、あの世界だとちょっとパワー的に弱いかな。変なの他にもたくさんいるし。
Ｈ　なるほど、すでに「変なの」中枢が満腹していると。可愛くないわけじゃないけどね。ただ、やっぱり蹄はちょっと（苦笑）。晶ちゃんも弱いかな。ごうい。要素的には備えてるけど、あんま中身はないからねん。

　――乾家です。

Ｈ　有彦というキャラを出してきたことにはちょっと驚かされたけど、いいゲームには必ずいいヤローが存在するという法則。
づ　脇役スキーとしては満足の行くキャラでした。
Ｈ　実際はストーリーにはほとんど絡んでないけど。
づ　おかげで後半ほとんど出てこない。
Ｈ　後半にまで出てきたらきっと死に役だよね。
づ　あっさり死んでるね（苦笑）。本編だけだとイマイチ志貴との仲が解らなかったが。
Ｈ　そう？理由はともかくコイツのおかげもあって志貴がそれなりに保っているのは解かったよ。
ご　ある意味、唯一の友達？

H 逆に、普通はここまでの親友は得がたいと思う。
づ 得られないよ。お互いにそんなやつが身近にいて
運がいいと思う。有彦も志貴がいなけりゃどうな
ってたかなぁ。
H ここまでの繋がりがあって、よく巻き込まれなか
ったねェ。
づ 『夢十夜』読んだ後だとちょっとそう思う。
ご 日頃の行いが良いから?
H 野性の勘でしょう。

H 有彦は弓塚はやばいって言ってたけど、あれは単
に志貴との相性のことかな?さっちんもひたむき
かつ内向きな部分があるから、ずぶずぶと沈みそ
うな気がする。
ご まさにそうなんでない?心中系組合わせだよ。
H 心中系って(苦笑)。
ご 志貴クン、断れないタイプ。
H 晶ちゃんや翡翠も、別の意味で心中しないと許さ
れない気が。
ご 殺しにくる面子がいるからねぇ。

――気が付けば路地裏でした。

H 舞台として非常に巧くできていたと思う。
ご 日常が無くなる場所だねん。
H ここに来させるだけで、読者に緊張を与えられる
ようになってる。後日の『黄昏草月』でフォロー
しているのも感心した。
ごうい。なにかが起こる場所ですからねぇ。
H 何が巧いって、背景CG二枚だけで済むのが巧い
(笑)。抽象化が完璧。
ご 絵もそれらしいしね。
H うん。
ご ここは面白いなと思ったですわ。こういう効果の
例ってあんま見ない気がするから。
H ゲームでは覚えがないな。小説・映画にまで広げ
るとあったと思う。特定の場所を象徴的に使うと、
迷宮的な行き詰まった感じが出るね。
づ あの裏路地って全部同じ場所じゃないよね?
H 「背景使い回しやがってー」と思ったことはあっ
た(笑)。
ご イメージ的なものだから同じかどうかはどうでも
いいのではないでしょうか。
づ あれが全部同じだとあからさまに怪しい場所やん。
が、あんな裏路地がいたるところにある街もヤだ
な。
H 本編で描写されていたか確かでないけど、なぜか
そういうものが入り込んでしまう街の空白地帯。
もしくは餌場(汗)。そんな感じ。
ごうむ。なにかが澱んでるんでしょうな。
H 多分、自分の屋敷の次に澱んでる(笑)。この街を
訪れたからには、一度は参っておきたいスポット
です。
づ 怖いよ(苦笑)。

――公園です。

Ｈ　アルクェイドに押し倒されてドキドキでした（笑）。公園と言えば、昨晩の夢の内容を問うシーンでしょう。

づ　それは学校の方が面白かった。

Ｈ　あっちは先輩以外の場合にシナリオ矛盾が発生するから却下です。

づ　アルクェイドシナリオではアルクェイドが夢に出たやつしか見てないなぁ。

Ｈ　お相手が自分であったことを知ってうろたえる姿が見物です。

ご　あれはすげー楽しかった。

Ｈ　淫夢はサービスのつもりだったんだけど、ずれてますな。

ご　短絡的に嬉しいだろうとか思ったんじゃないかしらん。その時点では自分が恋する乙女に密かになってることは気づいてなかった、と。

Ｈ　その後、悶々と悩んでたりして。人間がどう考えて選ぶのかをあれやこれや想像して、挙句の果てにレンを呼び出してみたものの、まったく会話にならないとか（笑）。

ご　どういう自分を見せたのか、大慌てで確認してたりして。

Ｈ　リプレイできるのかなぁ。

Ｈ　『黄昏草月』では、やっぱりレン？

ご　ねこーねこー。ベンチでレンですな。

Ｈ　レン、猫姿のときのほうが印象いいかも。パターンＣＧの演技のさせ方が気に入らなかったんだよなぁ。

ご　猫のときのが芸があるか。

Ｈ　いかにも猫っぽい愛想のなさが良かった。中庭に現れた酒飲み猫ってレンなのかな？

ご　でしょうね。翡翠には近寄るけど、秋葉や琥珀さんからは逃げるという。さすが野生動物。

Ｈ　猫秋葉には敵わないがな。

ご　あれは化け猫。

づ　あれはあれで可愛かった。

Ｈ　うむぅ、どっちかというとライオンといったほう

が秋葉を表している気も。
ごああ、そうだねぇ（笑）。
H琥珀さん、猛獣使い？
ごうむ。いろいろなだめたり脅したり。
H利用したり（汗）。アルクェイドの二段着ぐるみはちょっとやられた。あれを見て、ぐっと来ない志貴くんには才能がない。
ご来るのか？
Hえ、来るでしょ!?ぴったりしたスーツに猫耳カチューシャだよ。しかも、黒のストッキングだ！
ごごめん。くる（爆）。
Hいいよねぇ、黒のストッキング。『だぁ！だぁ！だぁ！』の冬服も黒のストッキングで、衣替えのたびに幸せを噛み締めている。
ご素足ってのはそれはそれでいいんだけど、冬だとそっち系もよいですな。
Hしかしながら、アルクェイドが猫ってのはちょっと解からない。『歌月十夜』のディリーメッセージに出てくる猫耳アルクェイドは猫というより狼に見える。
ご耳の形がいまいち猫じゃないのかな。
H手も肉球というより、爪って感じ。性格もそんなに猫っぽいかな？
ご気まぐれという点しかない気はするです。
Hそれもお高くとまった猫っぽいものじゃなくて、はしゃいでだしね。逆に犬チックかも。
ご子犬のほうが近いのかもね。
Hでも、遊んでいるつもりで噛み殺す。
ごレン以外だと、やっぱ翡翠がいちばん猫だよ。琥珀さんは狸。
H先輩は狐で、秋葉はライオンか……。がくがく動物ランド？
ご鹿は誰だ？
H晶ちゃんがバンビとかいうとエロ親父っぽいですか？（苦笑）まあ、ウサギだな。餌だし。
ごウサギですな（笑）。
Hライオンはウサギを狩るにも全力でっ!!ああ「全力にならなくていいですぅ」と涙目の晶ちゃんが……。
ごなこは馬。
づそれそのまんま。

――てくてく歩いていると、昼間なのに（そーだったのか？）なぜか出ている中華飯店 Mk.II です。

ご高田くんのおにーさん。
H……いま明かされる真実。お兄さんも本編に出てた。
『――この衝突事故は被害者である高田陽一さんのオートバイのブレーキペダルが何らかの異常をきたしており、ブレーキがきかない状態で急な坂道を下りてしまったことが原因とされています』
アルクェイドとホテルに泊まったときのＴＶニュースです。こんなん気づくかいっ！

ごうひー、出てたのか（笑）。
H　『黄昏草月』で改造バイクマニアといっているから間違いあるまい。
ご　そんなん、あとで検索でもしてないと気づかんぞ。
H　この本で唯一の収穫かも。
ご　むぅ（苦笑）。

――屋敷へと続く坂です。

H　弓塚……不憫だねェ。一回目のプレイでは途中ですっかり忘れてました。しかし、本編でのことよりその後の扱いのほうが可哀想な気がするぞ。何かとネタにされてて。
ご　そやねー（苦笑）。最初は普通のヒロインかのぅと思ってたんだけどねー。でも、秋葉は結構あの娘に食われてた気もする。
H　食われてた？秋葉が食べたんじゃなくて？
ごうひ。一応、秋葉シナリオの前半の一部扱いじゃなかったっけ？
H　遠野ルートの起爆剤でしょう。弓塚を失うことで志貴が動くように仕込んでる。確かに、なんども弓塚を回想しているので読者が入れ込む余地があるかな。
ご　一部にこだわりのファンがいそうね。
H　でも、ヒロインにしてはパターンCGが粗末だった。
ご　バリエーションが少ないですな。髪型のくっつきかたが結構謎です。
H　ちよちゃんみたいに取り外しができるとか？
ご　そんな感じ（苦笑）。

――『あずまんが大王』ですね。

H　パターンが少ないのもなんだが、仕上げも荒いよね。紅目とか、凄みがあるべきだと思うんだけど逆に萎えるよ。ゲーム全体でも迫力の必要なシーンに適切なCGが表示されることはなかったが。
ご　体育館閉じ込められ話は結構好きかも。
H　だいぶ志貴クンがヒロイックになってるよね。立派にギャルゲの主人公って感じ。
ご　一応、作中唯一「ぼーいみーつがーる」的にできそうなお話だと思うのだがどう？他はあんま「がーる」じゃないから。
H　秋葉はレディだからな。
ごうまい（笑）。他は比較的女の子優位だからね。精神的に対等なのはさっちんぐらいかと。
H　アルクェイドは少女だよ。
ごまあ、少女かなぁ。
H　マルチと同レベルに少女。……マルチって少女か？
ご　システマチックという点でマルチと同じかな。創られしモノだし。
H　アルクェイドの魅力は純粋であることだから。ヒロインの中で一番少女なんだよ、ありえない意味で。

ご　白い吸血鬼ってのが象徴してますな。
H　で、まあ、オタクはそういうの好きだから。
ごうむ。それで、さっちんは「思春期の少女」だね。
　一応秋葉もそうだけど、「当主」ってあたりが影響してあんま思春期の娘っぽくない（苦笑）。
H　一見ね。
ご　琥珀さんは「女」だし。翡翠も比較的少女ではあるかな。ただ、思春期になれてないっぽい。時間を止めてしまった感じがする。
H　琥珀は女かな？時間を止めてしまったのは翡翠に劣らず、初期的には人ですらない気が。
ご　人形ではあるからねぇ。策謀を巡らせてしまってるあたりは「女」と位置付けたいけど。偏見かもしれんが少女にはあれはできない。
H　やって欲しくないんでしょ（笑）。
ご　少女の残酷性ってのは少し違うと思うのです。アルクェイドの残酷性は比較的少女のそれかなと思うんで。
H　純粋性があるからね。子供の残酷さとは違う？子供のほうが無邪気過ぎるか？
ご　だいたい同じだと思うよ。自分の欲望にストレートなの。
H　四季のそれは子供のかな？子供に加えておぼっちゃま的でもありそうだ。
ご　四季は子供だと思う。で、大人は子供を騙せちゃうの。だから、琥珀さんは大人。四季は子供だけどロアは大人。
H　なるほどね。ただ、琥珀さん自身の成立を時系列を踏まえて考えると、女の人格としてでき過ぎな気がするな。随分早い段階で壊されてない？
ご　壊れられなかったところがミソなんじゃないかな。ちょっと壊れるの意味が発散しちゃうけど、四季は壊れきって、その結果子供のままなんだと思う。琥珀さんは、そういった意味で壊れることはできなかったから――壊れるというより、歪んだというほうが良いのかな――もともと精神・肉体的に強かったのと、翡翠がいたことでリタイアすることは許されなかったのではないかと。
H　二重人格の一方として成長していたのかな。表の人格が翡翠のキャラクタと入れ替わり始めたのは、志貴が家を追い出されてからだよね。
ご　そうですね。そのあたりは翡翠との相互作用もありそう。しっかりしたお姉さんにならざるを得なかったわけで、少女としての部分は残ってると思うよ。それを見つけることができたのが志貴だけだったのではないかと。
H　でもさあ、琥珀は秋葉にも大事にされていて、秋葉のほうが志貴よりも琥珀を深く想っていたような。
ご　秋葉は琥珀らぶでしょう（笑）。琥珀さんも遠野一族は恨んでるけど、秋葉には基本的にらぶらぶと見た。歪んだ愛はいいねぇ。
H　秋葉の心の内を思うと辛いよ。父親のした仕打ちとか、幼馴染であることとか、悪巧み仲間で、し

かも美味しいし（汗）。
ごうひ（笑）。
H って、話それそれ。つまり、ポッと出の志貴が琥珀さんをかっさらうのは納得がいかないと。
――戻り切っていません。「ボーイミーツガール」の話は……。
ご 秋葉とふたりして堕ちていくのがやっぱ絵になってますな。だから、やっぱり翡翠シナリオがトゥルーエンドなんだよ。
H 却下！それに、ふたりには周囲を恐怖に突き落として続けて欲しい。
ご まあ、アルクェイドがでてきて居着くようになるとそうなるんではないでしょーか。琥珀さんの計画はおしゃかになって、それはそれでほっとしつつ、秋葉とセットで小姑ノリをかましてくれると。
H いぢわると言えば、『黄昏草月』に離れで居眠りしてて翡翠に起こされるイベントあるけど、あの時の秋葉が好き。もう、オレ的にはあれは秋葉のイベントとして認識するほど。
ご 怒りの秋葉？似合ってるよねー。
H オレと翡翠の間にさりげなくのつもりで割って入るのが可愛いんだよ。
ご 琥珀さんの罠はアルクェイドにはなかなか通じない、もしくは気づいてもらえないので、被害に遭うのは主に志貴と翡翠ってことで（笑）。
H そこで被害者意識から絆を深めようとするなー！これだから翡翠は油断ならん!!って感じだよね。『黄昏草月』でも。
ごうむ。あの話は一応アルクェイドエンド後ってことだろうから、そういう状況になったら志貴君は躊躇なく手を出すということが良く解りますな。
H うーん、社会の授業で習ったような……。四方八方と付き合うことで生き残りを図る外交ってなんて言ったっけ？
ご なんだっけな。
H そんな感じだ。結局、最後まではなれないんじゃないだろうか。バランス崩れたら血の雨～。
ご 血の海～。アルクェイドは比較的気にしない気はするけどね。
H 気にしないだろうね。だから好き（笑）。
ご 長寿生命体だし、そういう意味での独占欲は無い気がする。
H いつまで飽きずにいてくれるか解からんけど。
ごうひ。
H 一番許してくれないことは死に別れかもね。無茶苦茶理不尽に怒られそうだ。ヒトは死ぬんだって、特に志貴は早く。
ご 現世での快楽的な独占欲はないかもしれないけど、魂だけは占有したがるような気がする。
H うあ、永劫使い魔的な存在に落ちるか。
ご 自分で完全に殺すか、もしくは時間を封じて自分の手元に永遠におくか、どっちかをしそうな気がします。

H その手の永遠には耐えられないのが人間のセオリーだよね。アルクェイドは理解してくれそうにないけど。
ご どうなることやら（苦笑）。
H なんか、嫌な考えになってしまった……。
H さて、さっきから話題に上らないアノ人だけど。立派に女性だから、ねぇ。
ご 現実では琥珀さんよりも苦労人だよね。
H そうだよねぇ。年月も（汗）。
ご 「女性」は相応しいですな。
H シエル先輩不人気……じゃない伸び悩みにこれも影響しているかな？女性としての優れた描写はなかったと思うけど。
ご 奇人だしね（笑）。あの設定とあの落ち着きかたからは、やぱ「女性」としての風格は感じられますよ。それなりに影響してるかもですね。たまに暴走するのと偏食以外は比較的完璧ですし。
H 基本的に魅力的なんだけどなぁ。
ご 小姑とかに該当する表現をあげるなら、「行き遅れ」？
H 該当してないって（冷汗）。
ご 天気予報で今日は剣が振るでしょうとか言われそうだから、これ以上は黙っておこう。
H 志貴との関係という点でひねりが足りないのかな？
ご アドバイザのおねーさんを越えませんからねぇ。アルクェイドは初めての人（殺し）だし。秋葉は妹だし、翡翠と琥珀は使用人にして一応幼馴染だし。弱いね（苦笑）。
H いっそ、女教師で潜入してたほうがその手のマニアに。
ご ああ、そのほうが良かったかもですねぇ。
H 知得留先生に人気があるのも解る。
ご 一応「変な先輩」という関係はありますが。
H 宿命が薄いよね。腐れ縁があまり腐ってない。なんとか逃げられそう。
ご うむ（苦笑）。だいたい、グッドエンドのほうでアルクェイドに負けそうだし。
H ある意味では理想的なエンディングだが。で、ようやく弓塚に戻ると、だいぶマシな感じがするのは何故だろう？
ご （苦笑）
H 「ボーイミーツガール」ねぇ。『うる星やつら』最終巻ですか。
ご 永遠に続く。
H それは劇場版パート2。今際の際に、誰が好きだったかを告白する志貴くん。
ご みんなの名前を言って禍根を残してみる。
H 強制的に生き返らされそうで嫌だ（笑）。それはそれで、高橋留美子っぽいな。……って、こんな対談の先に未来はあるのかっ!?
ご あんまり無い気も（苦笑）。正確には「ボーイミー

ツガール」と言うよりは、「ボーイミーツガールにできる」かなと思うです。さっちんシナリオがちゃんと存在してたらそう作れるよなってことで。

H　シナリオ自体は既にあるみたいだけどね。それはそれとして、さっちんは結構前から志貴を見てたんでしょ？そういうのって当てはまるかな？やっぱり、「ぶつかる出会いはdramatic」が基本だと思うんだけど。志貴にしてみりゃ、ほとんどど面識なかったんだろうが。

ご　そういう意味ではぶつかったようなもんではないかなと。他のキャラも、まあ、そういう点では大差ないと思うけど、精神的に双方思春期ってことでー。

H　志貴、思春期？それは違うだろー（大笑）。

ご　達観してるかも（苦笑）。

H　ちょっと離れるけど、吸血鬼ルートと遠野ルート、どっちを気に入っているかによっていろんな面で見方が違うよね。遠野ルートはわりと思春期だよ（笑）。

ご　思い出話とかたくさんあるしね。

H　幼馴染に囲まれてるし。囲まれているとゆーか、囲われているとゆーか。もちろんヒロインの誰が好きかにも大きな影響が。こっちが源かな？

ご　両方に好きなヒロインがいる場合はどうすればよいでしょう？アルクェイド好きだけど、翡翠も捨て難い。アルクェイドが夜中忍び込んできて、翡翠とかち合わせシチュエーション希望。

H　かち合わせてどうしたいかが問題だと思うんだが。

ご　その緊張感を楽しむ。アルクェイドは比較的いつも通りと思われますが、翡翠のほうの反応が楽しみ。

H　翡翠だと可哀想だよ。秋葉ならＯＫ。自分の身がぜんぜんＯＫじゃないが……。

ご　秋葉はどういう行動に出るか予想がつきすぎるので。あと、やぱ自分がやばいから。

H　いやぁ、予想を越えるかもしれない。ぽろっと泣かれちゃったらなんて思うともうドキドキ。秋葉が泣いたら、きっとアクルクェイドといえど窓から蹴り出すと思う。

ご　妹を泣かせる奴は許さん？

H　泣かせたのは自分だと思うけど。

ご　（苦笑）。アルクェイドエンド後は、いろんな意味で修羅場ってそうだね。実際、『黄昏草月』でも乱入してきてたし。

H　話を戻す（汗）。やっぱり、アルクェイドの方が「ボーイミーツガール」だと思うけど。片や世間知らずのお姫様。しかも兵器。片や死線をまたいで壊れちゃってる男の子。ひょんなこと（笑）で出会ったふたりは大事件を通して結びつき、お互いに新しい世界へ。ほら、過程に目を瞑ればばっちりだ。

ご　（苦笑）。形式的にはそうだとは思うんだけど、アルクェイド強すぎるから。もう少し弱めのほうが合うかなーと。

H　坂を上りきると。
ご　でかい門が～。
　――屋敷につきました。
H　良く見ると、木に隠れるように監視カメラが配置されてます。もしかしたら塀の上には電流くらい流してあるかもしれません。
ご　アルクェイドならひとっ跳びです。きっと、アルクェイドが入り浸るようになってから、迎撃ミサイルかなんか発注したに違いないと思っとるのですがどうでしょう？
H　要塞化は進むと思われます。しかし、近代兵器は対超人には不向きですからねェ。
ご　琥珀さんに指令。庭ににんにく畑を……。
H　もちろん、外からの侵入も防ぎますが、中からの脱出も困難になってます（汗）。
ご　そこは翡翠を味方にして。私的にはレンをどうやって説明するのかが非常に気がかりです。猫のままならいいかもだけど。「餌」のことをどう説明するのだろう。
H　あのコ、夢の外で人になれるのか？
ご　オフィシャルのうちわが海に泳ぎに行ってたからOKってことでー。
H　なんか、なれるに決まっているというむさ苦しい声が聞こえてきますが、私としては契約も血で済ましたほうがいいと思ってます。スカートの端を持って、ちんまり挨拶した可愛らしさは肉欲に劣りません。
ご　まーねー（苦笑）。
H　夜、アルクェイドが忍び込んできた時に、ベッドに（猫姿であっても）レンが一緒に寝てたりするとそれなりに禍根を残す可能性も。
ご　そのまま三人で、以下自粛。
H　等しく愛する自信と体力があればそれも可。
　――いきなり座敷牢です。
づ　何度落とされたことか……。
H　四季も志貴も使う羽目になったようです。
ご　ペットとして飼われるのね。
H　手首から先を切り落とされたりしないだけマシだと思いましょう。当主としてこういう設備を放置して良いのかね。
づ　当主も使いそう……。
ご　喫茶店で、地下に閉じ込めようかしらとか言ってたよ。
H　ここじゃ秋葉をからかえないからやだなぁ。
ご　毎晩いじめにやってくる。
H　でも、幽閉されたところで他の連中が黙ってないでしょ。まだ助かる見込みはあるね。
ごうむ。襲撃がありそうだ。『遠野家の攻防　志貴争奪戦線』。
づ　誰か書かないかな？
H　こういうのは言いだしっぺが実行するのが決まり

だぞ。一応、外部組ということでアルクェイドと先輩は共謀するんだろうなぁ。
ご　最後の瞬間に仲間割れ必至よ。
H　貧乏籤を引くのが秋葉っぽいのが可哀想。当然のごとく翡翠がダブルスパイで抜け駆けするし。
ごあう、先に言われた。
づ　考える事はみな同じですかい。
H　翡翠が逃げ切れるかどうかが注目だね。『コン・ゲーム』と似た展開になってしまうかな。
づ　しかし今度は団体戦。
H　今回は隠匿がばれた時点で、琥珀は敗北だろう。
ごいや、いろいろ罠をしかけているかも。
づ　琥珀さんだったらタメ張れそう。各地にカレーとにんにくを配置。
H　ゲームと違ってルール無用だから戦術上最強のアルクェイドが圧倒的に有利でしょう。アルクェイドにある意味勝てるのは志貴自身だから、どこまで志貴の情に訴えるかだよね。
ごだねぇ。カレーのほうはそれで勝利できそうね。
H　うーん、志貴よりカレーなんだろうなぁ。デートでも放置プレイ食らったし。
ごヒロイン戦争にはやっぱ敗北だろうなぁ、先輩。
づ　お笑い担当ですから。

――庭からいきなり地下に落ちてしまいましたが、脱出するとそこは秋葉の部屋でした。

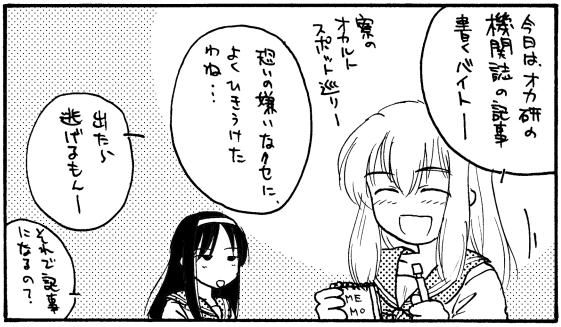
H　ブラボー。
ご　また落とされるまえに退散。
H　何っ！この最後の秘境を前にして逃げるというのか!!
ご　怖いから。
H　この部屋に入ったからには、まずは妄想手帳を探さないと！
ごうひ。
H　……まだまだだね（C）テニスの王子様
ご　電波か呪いで報復を受ける。
H　ち、違うんだ瑠〇子（笑）。ところで、志貴の部屋と違って秋葉の部屋は二部屋ですな。
ご　豪華よね。
H　いいよなぁ。この屋敷だったらシアタールーム作れるな……。というわけで、三ヶ月ほど身柄を売り払っていろいろ買ってもらいたいと思います。一千万くらい大丈夫だよね☆
ご　売り払ってもビタ一文くれないに一票。
H　えー、必要なものは買ってくれるって言ってたじゃん。
づ　必要なものだと説得するのが大変だそうだ。
ごどうしてもって頑張ったら14インチぐらいはなんとかくれるかも。
H　いいのかそんなこと言ってて。この家にＩＰパケットが届いていると思ってるのかね？
ご　ありえんと思います。
H　散財の道を開かず生きていけるのかね？

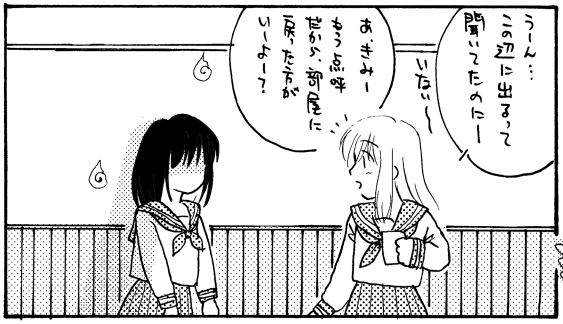
ご　私には無理ですね。翡翠と逃げることにします。
H　やっぱりそうきたか（苦笑）。秋葉はちゃんと話せば解かってくれると思うけど。
づ　甘いと思う。
ご　そういった点に関しては固いと思うのよ。あの状態での生活が正しいと思ってるから、近代文明の上陸を最低限以上許してくれそうにない。
H　オーディオは大丈夫。すでに前近代的な趣味だ（苦笑）。

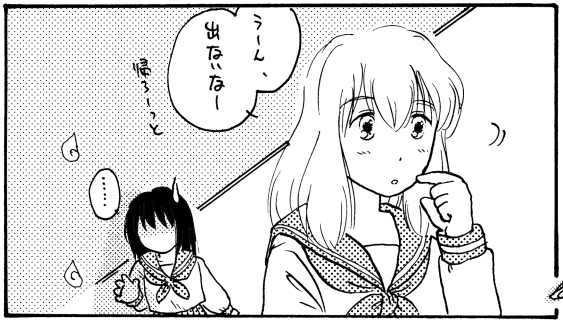
H　秋葉のシナリオってどんなだっけ？
ご　基本的に報われんキャラやねー。
づ　でも可愛い。表情がいい。
H　……というわけで、やり直してしまいました。
ご　お疲れ様。
H　秋葉が可愛いということが全てかなと。
ご　まあ、可愛いキャラではありますよねん。作中、唯一、「けなげ」が似合いそうな女性ではある。
H　そう、意外にもけなげなんだ。
ご　翡翠もけなげ系だけど、ちょっと質が違うから。彼女はベースに主従関係があって、それの発展だからねん。他の各キャラには「けなげ」の「け」のかけらも無い（苦笑）。
H　秋葉はけなげだけど意地っ張りなので、んなシナリオになってしまったとゆー感じです。よくよく読むと、全部秋葉がこじらせている。シナリオ的には一番シンプルじゃないかな？まるで誰かの胸のように。
ご　そうですね。まあ、秋葉がこじらせちゃうのも志貴君に甲斐性が無いからだという気も。
H　甲斐性っていうのかなぁ？さっちんの件と合わせて、弱り目に祟り目でしょう？秋葉が変に追い込みかけるから、自分が殺人鬼なんじゃないかと思ってしまってたし。
ご　秋葉的に見ればやぱ甲斐性でしょう。志貴は基本的に妹だと思ってるけど、秋葉はそうでないことを知ってるから。
づ　兄として扱っているんだからそれはわがままというもんでそ。
ご　わがままと強権発動こそ彼女の属性（笑）。
H　その矛盾したところで苛立っているところが可愛いんだ。
づ　うむ。
H　多分、志貴のことでなければもっと巧く状況を操ったと思う。
ご　詰めが甘いのは彼女の性格じゃない？力技だけで物事を進めていくというかー。獲物をいたぶるのは得意だけど、策略を練るのは苦手というかー。ストレートな方法しかとれないような。
H　技で攻めるって意味ではなくて、引け目があって勝負に徹し切れなかったのが敗因。
ご　あ、そか。志貴にはストレートになれないんだ。そういう意味ではそうかも。操るというより「押し切る」が正解と思われます。

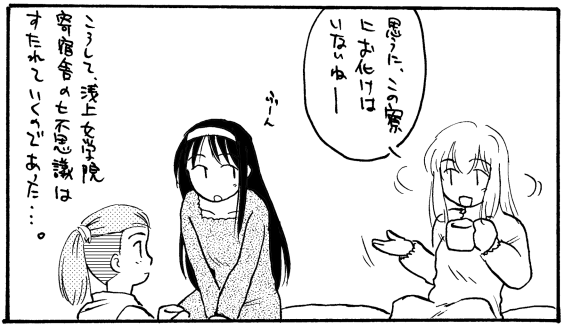
やっぱり羽ピン

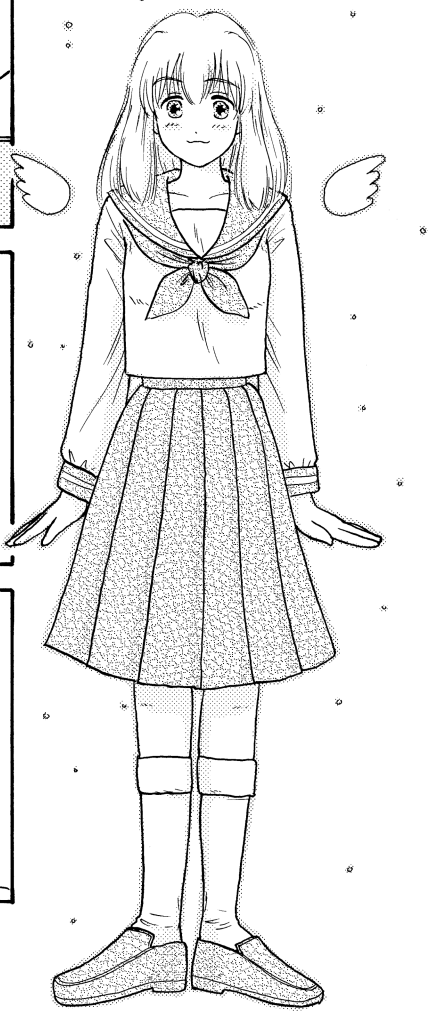
高橋むぎ
http://mugi.denpa.org/











そんな訳で、「月姫」と言えば『宵待閑話』の羽ピン、という高橋なのでした。羽ピン本も作ったさ…。

H　力の秋葉、技の琥珀。
づ　最強タッグですな。
H　いやぁ、すぐ割れるから（笑）。秋葉は戦略家というより戦術家だね。勝ち続ければ負けない！みたいな。
ご　そんな感じっすな。
H　だから、負けそうになると勝負ごとをぶち壊すんだよ。「負けないことが私の正義」。我が妹ながら、頼もしいなぁ。
ご　一般人相手ならそれで大勝利だったところ、アルクェイド相手だとちょと分が悪かったね。先輩ならまだなんとか対抗できそうだが。
H　その先輩は秋葉シナリオではおいしいというか便利に使われてますな。
ご　説明屋さん（苦笑）。
H　しかし、先輩にしてみれば唯一のチャンス。ハッピーエンドでは、後日『宵待閑話』で語られていたように志貴と国外逃亡。
づ　あれは国外逃亡なのか？
ご　国外拉致という説も。
H　半年のうちに変心させれば、あらゆるエンディングの中で最も逃げ切れる可能性が高い！
づ　おお、それは気がつかなかった。
H　問題は変心させられるかどうかだけど。
ご　ほら、そこはやぱし、改造（笑）。
H　秋葉の友達繋がりということで。晶ちゃんは少し触れたけど、やぱ羽ピンでしょう！
づ　お約束キャラで良いね。
ご　ぼけ担当？
H　対秋葉最終兵器。もはや秋葉の女王道を止められるのは、彼女のマイペースっぷりくらい。『宵待閑話』でも、妙にイベントCGに手がかかっており優遇は明らかです。
ご　まあ、世の中には秋葉に対抗しうる存在が結構いるんだなと（笑）。
H　あのボリュームのシナリオに、やけに強力なキャラクタを投入してきたよね。
ご　キャラクタ的には強力ですな。設定魔の本領発揮？
H　しかしながら、今回のコミケ（六十一回）では羽ピンを掲げているところはひとつだけらしい。
ご　おろ、そうですか。『月姫』はまだどこに紛れて出てくるか解らんからねぇ。
H　突発本になりそうなキャラだからね。
ご　テレビが見たい。
　――ということですので、琥珀の部屋です。
H　地下牢は別室だったり。
ご　直結通路あり？
H　秋葉の部屋が二階であるにも関わらず直結しているので、この部屋も可能性は高いかと。さらに、盗聴室への出入り口もあると思われる。

ご　屋敷の真の主！
H　館内隈なくモニター可能。電話も常に録音してる。
　晶ちゃんからの電話もバレバレ。
ご　符牒で会話。
H　琥珀さんの切り札は、きっとHシーンのビデオ。
ご　（笑）
H　琥珀さんは破壊魔としても名高いけど……。
ご　料理ができるってのはちょとずれてるかのぅ。
H　薬剤師もちょっと。
ご　手先は器用だけど、体全体は不器用……とか。でも（自粛）の器用さは天下一品。
H　舌ですか？

H　単純なトコで、琥珀さん萌えます？
ご　無理。
H　一瞬にして終わってますが（苦笑）。
ご　マゾ傾向のある人にはたまらんのかも。
H　やっぱり、知ってしまうと重すぎて冗談では済まされませんか。ということは、志貴くんはマゾ傾向があると。
ご　あの屋敷にいる時点で以下略。
H　実は第三回人気投票では三位です。
ご　人気急上昇？
H　ランクアップしてます。『月姫』ファンの大半はマゾという結論で。
ご　（苦笑）

H　シナリオは、基本設定を踏まえて若干の追加設定で導入されてますな。心変わりはちょっと都合がよすぎな感もありましたが。てゆーか、秋葉に酷い役を押しつけんなーっ！
ご　似合ってるから。
H　割と本性なので（笑）。エピローグでけろっとしているのが流石です。そのエピローグで「悪霊のようなもの」と一言で済まされていたのがロアっちですか。
ご　むごし。
H　後半、翡翠が全然出てこないんだよね。
ご　基本的に蚊帳の外だし。
H　その上、泥棒猫（by 秋葉）に志貴を盗られてしまって。翡翠としてはあれでいいのでしょうか。
ご　姉さん想いだからねぇ。エンディングは「志貴くん、ふぁいと！」これに尽きる気がします。秋葉ぱわーあっぷしたし、翡翠は戻りつつあるし、琥珀さんも元気だし。
H　まだアルクェイドと先輩が出てこないのでマシ（笑）。
ご　一応オフィシャルの方では、お話としてはアルクェイドグッドの筋を採用しつつ、遠野方面の話もある程度こなしたことになってるんだよね。
H　死ねます。間違いなく死ねます。えーっと、アルクェイドだから四季は復活せず。琥珀の計画は……。
ごちょと無理がある。無難なところだと、過去のこ

とを志貴が知って、秋葉が軽く暴走してってぐらいかねぇ。ロアいないから秋葉大暴走は無いでしょう。

H　なぜ、秋葉暴走が入る！

ご　なんか事件起こせそうなのって秋葉ぐらいだから（笑）。原因の設定が難しいですが。

H　秋葉を遠野寄りにして志貴とぶつけるしか。

ご　志貴君が元気になっちゃったから、秋葉も基本的には安定するでそ。

H　うむ、一服盛るくらいかな。

ご　だね。がんばれ琥珀さん。折角だからさっちんも絡めてみよう。ロアの残滓みたいなもんがちょびっと残ってたことにして、さっちん経由で秋葉に感染。

H　さっちんは独立してたからロアが死んでも大丈夫じゃ？遠野ルートに入ってないということはさっちんは処分されてないので、まだうろついている可能性が。……えっと、もしかして表では先輩が処分した？

ご　たぶんそうだと思う。もしくは完全潜伏に成功したかかなぁ。さっちんは素質があったってことなのよねー。

ご　関係ないですが、日本の法律ではふたり以上メイドを雇うと源泉徴収を行う義務が生じます。

H　戸籍無いし、給料払ってないから大丈夫じゃない？

ご　戸籍はでっちあげてるんでない？給料払ってないのはそうだけど。

H　薬剤師の資格取るのにマズイか。あれ？　その割に苗字が設定されてないけど。コスプレ屋で署名するときに迷ってたよね。

ご　そう言えばそうですな。

H　まあ、隅をつつくとレンの世界並に崩れるのが『月姫』なので。いずれにしろ雇用契約はなさそうなので税金対策はばっちりです。

――ホールを抜ける途中でリビングが見えます。

ご　双子なのに酒の反応が違うのは変だと思います。

H　む。アセトアルデヒド分解活性は遺伝要素が大きいですな。琥珀さんは実は飲んでないに一票。自分はほとんど飲まずに、ひたすら飲ませる人っているからなぁ。

ご　ああ、なるほど。それはありうる。こういう人に引っ掛かると大変です。

――屋敷を出て離れにきました。

H　翡翠シナリオを読み終えた時点で、翡翠・琥珀シナリオの中に翡翠エンドと琥珀エンドがある構成かと予想してたんだけど。

ご　それは難しいんじゃないでしょうか。単独翡翠エンドに持っていくのが難しそう。

H　琥珀さんのほうで秋葉暴走という新ネタを持ってきたのが意外。ほぼ、翡翠シナリオをなぞるかなと。

ご　ええ。単純に琥珀さん用の逃げ道を作るだけかのぅとか思ってました。基本的に、翡翠・琥珀シナリオってのは琥珀さんが仕掛けた罠に琥珀さん自身もそのまま囚われているって構図だから、完全に閉塞する前に閉塞させる前に改心（？）させるのかなぁと。

H　やっぱ、改心には？がついてしまうな。復讐ではないという話だったけど、琥珀さんのことを心から納得するのは難しい。

ご　最初は復讐で、そのうちそのこと自体はどうでもよくなってるんだけど、自分の行動原理がそれまでそうだったから、惰性でそのまま続けているーってところかな。自分がしたのは「状況設定」だけなのよ。あとは勝手に転がり落ちてったって感じ。

H　できることなら、四年早く自由になったところで気付いて欲しかった……。プロジェクトのスケジュールはちゃんと見直しましょう（汗）。

H　で、ここは翡翠なんだが。

ご　ほい（汗）。翡翠シナリオは基本的に各種伏線回収になっていることを評価してます。ふたつの「入れ替わり」の仕掛けが全部出てくるのは翡翠・琥珀シナリオだしねん。翡翠と琥珀のパターンCGのバリエーション差も評価してます。翡翠のほうが表情のバリエーションが多いのねん。

H　文章を反映しているのね。

ご　翡翠は志貴の言葉に結構細かく反応するのよん。そういった細かいところの密かな作り込みを評価してる。あと、琥珀さんの笑顔は基本的に不自然な目なのだ。

H　それを感じさせるほどCGに力はなかったけどなぁ。

ご　私も後づけ解釈だけどねん。

H　翡翠は唯一邪魔者がいないエンディングを擁してるね。

ご　お得ですな。「実は表ヒロイン」と言われるゆえん（苦笑）。

――月姫ツアーは以上で終了です。それでは、まとめをお願いします。

H　今回は文句が多くてファンブックから外れてしまいましたな。主にオレ（汗）。

づ　（笑）

ご　文句をつけたくなるってのは、それだけ期待している表われってことで。
H　まあ、期待なのかな？一発屋で終わってもらってもいいですが、やっぱ次も飛ばして欲しい。
ご　私の好きなタイプの作品をつくってくれそうだから、今後の作品にはやはり期待したいです
H　頼むから品質上げてください。プレイに専念させて欲しいです。
ご　（苦笑）
H　なんかコメントも歪んでる（汗）。うーん、やっぱどーでもいいというか、好きにやってくださいって思ってる。なにが出てくるかなんて気にしない。良いものが出れば大歓迎ってことで。期待するなんてお門違いな感じがしちゃってね、どーも。
ご　期待しちゃ駄目？
H　期待して待ってるってヤダね。自分でもなに言いたいのか解からんけど、同人なんだからさぁいいじゃんほっときゃ。「次も同じ傾向を！」とか、「月姫2はっ!?」って違うじゃん。好きにやってもらおうよ。
ご　で、また粗があったら突っ込むと（苦笑）。
H　それはもう性癖なので（汗）。
づ　私はこの作品で、まだもやもやとですが、自分を表現したいなぁとより強く思うようになりました。もっとも、飽きっぽい私ですからどの方面で表現するかは解かんないですが。
H　どうしてそう思ったの？
づ　欲張りだなぁと思ったからかなぁ。好きな事してるよね。やっぱ好きなことすべきだよね、って感じかも。
ご　『月姫』は楽しませてもらえる作品でしたし、いろいろと同人作品と商業作品について考えさせてくれる良いきっかけになる作品でもありました。今後、『月姫』と TYPE-MOON がどういう展開をするのかは謎ですが、次の作品が出たらまたぜひ遊びたいと思います。
H　オレは、おらがムラのスターには興味ないです。より良い作品を求める場合、まだまだ課題は多いと言わざるを得ないでしょう。それをどうクリアするかは興味深いですな。幸い、脚本氏のネタはつきそうにないので一年後を待つということで。あと、待つだけでないように画策します。
ご　おらがムラのスターというか、できればライバル視したいな
ー（問題発言）。
づ　そですね。
H　そうすると、仕事辞めるところは TYPE-MOON を見習わないと（笑）。

了

—— スタッフ コメント ——

あづみ

苺電波talk初参加のあづみです。結構好みの分かれる苺内で特に異色な私が読本に参加できるとは思ってなかったので、ちょっと喜んでます(もっとも参加してると言えるほどの内容は喋ってないですが)。

脇役スキーな私にとって有彦という存在は十分満足のいくものでした。歌月十夜には有彦主役の話もありますし。私もいつかはこういうきらりと光る脇役がいる話をいつか書いてみたいですね。

わたなべごう

苺電波読本も3冊目。なんか対談ばっかりの本が続いてますが、楽しんでいただいているでしょうか。これ書いてる時点で対談収録は完了していますが、表紙とか挿絵が全然進んでないです。これから作業です(大汗)。今回はちょと方向性をかえてみようとかいって、変則的な構成で収録したのですが、これが大変でした。で、実はまだ最終編集した原稿のフルチェックしてなかったりします。編集のHos さんの手腕に期待(苦笑)。

ちなみに、月姫の個人的総合評価は、「エンターテイメント部門最優秀賞」といったところです。うーん、なんか負けじとやりたいなー (^^;

Hos,ともひろ

粗探しの人です(汗)。綿密に探した上で体系的に指摘できれば有用な話になったかと思うのですが、本編のボリュームの前に負けました。読本自体の雰囲気を損ねていたら申し訳ないです。私が反感を剥き出しにしていることは容易に対談から読み取れたと思いますが、原因はひとえに『月姫』が同人としてのライバルだからです。そして、作り方に相容れない部分があるからです。こき下ろして相対的に自分を高めようなんて、少ししか思ってません<ばきぃ

印象的なセリフはいくつもありましたが、今、思い出せるものをひとつ引用して〆の挨拶とします。

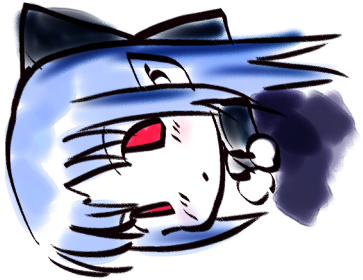
——*異端は孤立するが故に異端だ。*
群から外れているからといって、異端同士が分かり合える道理はない(ネロ)

最後になりましたが、えすさんに誤字チェックをしていただきました。もしかしたらまだ残っているかもしれませんが、それはHosの最終チェックの甘さから来たものです。ありがとうございました。

奥　付

発行日　2002年2月11日 第2版
発行人　わたなべごう
編集人　Hos,ともひろ
発行所　苺電波部 http://ichigo.denpa.org
mailto:ichigo@denpa.org
印刷　Kinko's茅場町店

すまん、やっぱ誤字あった……
（第２版校了後）



苺電波読本M

平成１３年１２月３０日発行
発行: 苺電波部 http://ichigo.denpa.org 編集: Hos 表紙: わたなべごう

200YEN